

目標達成計画

作成日：平成 23 年 1 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	会議等の場では理念の共有は出来ているが、日々の介護の場における振り返り・反映が不十分である。	会議の場等で確認をしている理念について、日々の介護の場においても職員全員が常に意識し、自らの介護について理念が反映されているか振り返る。	理念を日誌に常に記載しておき、また会議等だけでなく、日々のミーティングなどでも読み上げ、理念を基に毎日の目標を立てケアに取り組み、常に職員が意識できるよう働きかける。	3ヶ月
2	2	地域の行事に参加させて頂いたり、施設の行事に地域の皆様にも参加頂いているが、さらに地域との交流を進める必要がある。	今後はさらに地域に根ざした施設を目指し、地域の一員として地域の行事等に参加し、また地域の皆様にも気軽に施設に足を運んで頂ける環境を作る。	自治会・公民館などにも働きかけ、地域の行事・活動に今まで以上に参加し、逆に施設行事に地域の皆様にも参加を頂く(行事等も地域の皆様が参加しやすいものを企画する)。地域の学校の体験学習、その他の実習生の受け入れ等を行う。	12ヶ月
3	4	運営推進会議でのサービス評価(外部評価)の結果の報告・話し合いが十分ではない。	運営推進会議でサービス評価(外部評価)の結果の報告を行い、参加者からの意見を日々のサービスに反映する。	サービス評価の結果を運営推進会議で報告し、参加者から意見・提案を頂く。その意見・提案をもとに日々のサービスに反映できるようスタッフ会議等、職員間で話し合いを行い実行する。実行した結果を運営推進会議で報告し、参加者とさらに協議をする。	6ヶ月
4	5	市町村との連携部分において、協力関係が不十分である。	市と日頃から連絡を密に取り、認知症の専門施設としての役割を踏まえ、市と協働しながら入居者・地域の方の支援を行っていく。	困難事例の場合のみの相談ではなく、日頃より市に対して事業所の実情や施設として地域に貢献できる事について協議し、市の担当課にも足を運び働きかける。又、施設の取り組みに関しても市へ相談し、助言・協力を仰ぐ。	1ヶ月
5	6	玄関の施錠管理について検討の余地がある。	日中の玄関の施錠とチャイムについて、日中は施錠を行わず、チャイムは外部からの来客用にのみ設置する。	日中のフロアの職員配置を見直し、常にリビングに職員が待機できるようにし、入居者の把握に努め対応できるようにする。	3ヶ月

6	40	現在は、入居者と共に食事の準備から片付けまでを夕食時のみ行っているが、朝食・昼食についても同様に出来ることが望ましい。	現在は夕食時のユニットで作っているが、今後は朝食・昼食についても家庭的な雰囲気の中で入居者と一緒に食事の調理・盛り付け・配膳を行い、一緒に食べ、食後は一緒に後片付けを行う。	グループホームの特性を踏まえ、入居者と一緒に同じ食事を楽しめるよう環境整備を行う。その為に、ボランティアも募りより一層人員の充実を図る。	12ヶ月
---	----	---	--	--	------

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。